

subtropical

亜熱帯の植物



ピロウ(足摺岬)

ピロウ/アコウ

黒潮が沿岸を流れるため、亜熱帯らしい景観を楽しめるのが、本国立公園の1つの特長です。ピロウは四国・九州地方の南部、沖縄県の海岸で自生しており、足摺岬周辺は国内におけるピロウの分布範囲の東端であることから学術上の価値が高いとされています。アコウは幹の周囲から多数の気根を垂らし、大きくなると独特の姿になります。松尾神社のアコウは、周囲9m、樹高25m、樹齢300年の巨樹で国の天然記念物にも指定されています。



アコウ(土佐清水市松尾)

特長
ピロウ：高さ15mになるヤシ科の常緑高木で、葉は直径1mほどの円形で掌状に分裂して先端は折れ曲がる。4〜5月に独特の臭気のある黄白色の花をつける。
アコウ：高さ20mになる大型の常緑高木で、幹の周囲から気根を出す。花期は特に定まっておらず、花も果実もほぼ1年中見られる。

自生地
両種とも海岸の樹林地。

見頃
両種とも年中

autumn & winter

秋冬の植物



ハマカンゾウ(豊後海岸)

ヤブツバキ/ヤッコソウ



ヤッコソウ(足摺半島)

足摺岬では、椿油をとるためにヤブツバキの木が残され、薪や宗田節生産に活用するためにメダケやウバメガシ等の広葉樹が伐られた結果、ヤブツバキが優占する林が成立しています。土佐清水市の花でもあり、地域のシンボルといえます。ヤッコソウは、その姿から牧野富太郎博士によって大名行列の奴に見立てて命名されました。シイの根に寄生する植物で、足摺半島にある白皇山では、散策路沿いにいくつも群生地が見られます。

特長
ヤブツバキ：常緑高木で、普通は高さ5〜6mになる。
ヤッコソウ：地上部で見られるのは高さ4〜7cmの花茎で11月頃に開花する。

自生地
ヤブツバキ：海岸の樹林地
ヤッコソウ：シイ林

見頃
ヤブツバキ：2月 ヤッコソウ：11月中〜下旬

ハマカンゾウ/ハマオモト



ハマオモト(宇和島市沖の島)

ハマカンゾウは本国立公園の夏を代表する花の一つで、特に足摺岬の遊歩道周辺では間近に見ることができ、濃いオレンジ色の花と青い海のコントラストが印象的な夏の景観をつくりだします。ハマオモトは肉厚で長い葉が万年青(オモト)に似ることからこの名がついていますが、別名でハマユウ(浜木綿)とも呼ばれ、海岸に生え夏に白い花を咲かせます。また、大月町の町の花にもなっています。

特長
ハマカンゾウ：似た植物にノカンゾウがあるが、ノカンゾウに比べて葉が厚く、葉や花の色が濃いのが特長。
ハマオモト：常緑で高さは80cmほど。ヒガンバナに似た白い花を咲かせる。

自生地
ハマカンゾウ：海岸の日当たりの良い斜面。
ハマオモト：海岸。主に砂浜。

見頃
ハマオモト：7〜8月 ハマカンゾウ：8〜9月

summer

夏の植物

アケボノツツジ/ホンシヤクナガ



ホンシヤクナガ(滑床溪谷)

アケボノツツジ：山地に生える高さ6mほどになる落葉低木。淡紅紫色の花をつける。
ホンシヤクナガ：高さ2〜4mの常緑低木。葉の裏には淡褐色の綿状の柔らかな毛が密生する。紅紫色の花をつける。

特長
アケボノツツジ：山地に生える高さ6mほどになる落葉低木。淡紅紫色の花をつける。
ホンシヤクナガ：高さ2〜4mの常緑低木。葉の裏には淡褐色の綿状の柔らかな毛が密生する。紅紫色の花をつける。

自生地
山地の岩場や尾根筋。

見頃
両種とも4月下旬〜5月上旬

spring

春の植物



アケボノツツジ(篠山)

足摺宇和海国立公園の花々咲く風景



National Parks of Japan

この地域の大切な草花を未来に引き継いでいきましょう



ハマオモト

ここで紹介したような地域にとって大切な植物を守るため、環境省では「指定植物制度」を設け、足摺宇和海国立公園では356種を指定して植物の採取等を規制しています。
指定植物は絶滅が危惧されている種が多く、その中には鑑賞・販売目的での盗掘にさらされている種もあります。当公園に自生する植物とそれらが映し出される風景は、はるか昔から今に続く大切な地域の宝物です。この宝物を未来の子どもたちに引き継ぐよう、みんなで守り、慈しんでいきましょう。

環境省 中国四国地方環境事務所

〒700-0907 岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎11階
TEL 086-223-1577

土佐清水自然保護官事務所

〒787-0305 高知県土佐清水市天神町111-7
TEL 0880-82-2350

写真協力：石川隆吉氏、中地シユウ氏、島山ひとみ氏、前田綾子氏、松井宏光氏
滑床アクトピアセンター1万年荘
表紙写真：「フズウ」ノシキウ(愛南町高茂岬)



指定植物制度とリスト



Facebook



Instagram

オンライン連携性

発行：2020年3月 環境省中国四国地方環境事務所

足摺宇和海国立公園の 季節を彩る草花

足摺宇和海国立公園は、四国西南部の島々を含む海岸部と、標高1,000m級の山々からなる、変化に富んだ景観を誇ります。そのため、ここには海岸性のハマオモトやハマカンゾウから、比較的高地に自生するアケボノツツジ、そして亜熱帯性のピロウやアコウなど、多種多様な草花が季節ごとに咲き誇り、訪れる人たちの目を楽しませてくれます。

